

1.	②	11.	④	21.	④	31.	①	41.	④
2.	④	12.	①	22.	③	32.	①	42.	④
3.	①	13.	④	23.	③	33.	②	43.	③
4.	③	14.	③	24.	①	34.	③	44.	①
5.	②	15.	④	25.	③	35.	①	45.	①
6.	③	16.	①	26.	②	36.	②	46.	④
7.	①	17.	③	27.	②	37.	④	47.	①
8.	①	18.	①	28.	①	38.	②	48.	④
9.	③	19.	③	29.	②	39.	④	49.	①
10.	④	20.	④	30.	④	40.	③	50.	④

1.

解答 ②

【解説】

正解は②の`come up to ~`で、「～に近づいてくる、～までやってくる」という意味です。人が話し手の方へ近づいてくる様子を表します。`A little girl came up to me and handed me a flower.`（小さな女の子が私に近づいてきて、花を手渡してくれた）。他の選択肢は、①`come up with ~`が「(アイデアなど)を思いつく」、③`come across ~`が「～に偶然出会う」、④`come out`が「現れる、発売される」という、それぞれ`come`を使った重要な句動詞です。

◆補足：`come up to`には「(期待・基準など)に応える、達する」という意味もあります。`The hotel didn't come up to our expectations.`（そのホテルは私たちの期待には応えなかった）。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④の`collection`で、主に二つの意味があります。一つは、切手や美術品、データなどの「収集、コレクション」です。もう一つは、ゴミや税金、寄付金などの「回収、徴収」です。`He showed me his impressive stamp collection.`（彼は私に素晴らしい切手のコレクションを見せてくれた）。`The garbage collection day is Tuesday.`（ゴミの収集日は火曜日だ）。他の選択肢は、①`correction`が「訂正」、②`selection`が「選択」、③`connection`が「関係、接続」という意味です。

◆補足：`collection`は動詞`collect`（～を集める）の名詞形です。`a collection of poems`（詩集）。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「能力」です。`ability`は、何かをするための力や才能、つまり「能力、才能、手腕」を意味する名詞です。`He has a remarkable ability to learn languages.`（彼には言語を習得する驚くべき能力がある）。②「可能性」は`possibility`、③「責任」は`responsibility`、④「機会」は`opportunity`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`ability`は形容詞`able`（できる）の名詞形です。`the ability to do`の形で「～する能力」と表現するのが一般的です。類義語の`capacity`は、より潜在的な「収容能力、受け入れる能力」を指すことが多いです。

4.

解答 ③

【解説】

正解は③の`upset`で、形容詞として「動揺して、取り乱して、腹を立てて」、動詞として「～を動揺させる、ひっくり返す」という意味を持ちます。形容詞の例: `She was visibly upset by the news.`（彼女はその知らせに目に見えて動揺していた）。動詞の例: `His selfish behavior upset everyone.`（彼のわがままな振る舞いは皆を怒らせた）。他の選択肢は、①`set up`が「～を設立する」、②`offset`が「～を相殺する」、④`reset`が「～をリセットする」という意味です。

◆補足：`upset`は活用が`upset - upset - upset`と変化しないのが特徴です。`angry`（怒っている）や`sad`（悲しい）、`worried`（心配している）といった感情が混ざったような、複雑な心の乱れを表すのに便利な単語です。

5.

解答 ②

【解説】

正解は②の`produce`で、「～を生産する、産出する」という意味の動詞です。工場で製品を作ったり、農家が作物を育てたり、あるいは映画などを製作したりすることを表します。`This region produces high-quality wine.`（この地域は高品質のワインを生産している）。他の選択肢は、①`provide`が「～を提供する」、③`protect`が「～を保護する」、④`promote`が「～を促進する」という意味です。

◆補足：名詞形は`product`（製品）や`production`（生産）、生産者は`producer`です。これらの単語ファミリーをまとめて覚えると効果的です。また、名詞の`produce`（プロデュース）は「農産物」を意味し、数えられない名詞として扱われ、アクセントが前に置かれるので注意が必要です。

6.

解答 ③**【解説】**

正解は③の`brain`で、頭の中にある思考や感情、記憶をつかさどる器官である「脳、頭脳」を意味します。`The brain needs a constant supply of oxygen.`（脳は絶え間ない酸素の供給を必要とする）。他の選択肢は、①`train`が「電車」や「訓練する」、②`drain`が「～の水を抜く」、④`grain`が「穀物」という意味です。

◆補足：`use one's brain`で「頭を使う、よく考える」という意味になります。`brainstorming`（ブレインストーミング）は、集団でアイデアを出し合う会議手法です。

7.

解答 ①**【解説】**

正解は①「入り口、入学」です。`entrance`は、建物などに入るための「入り口、玄関」や、学校などへの「入学」、会などへの「入場」を意味する名詞です。`The main entrance to the park is on the north side.`（その公園の正面入り口は北側にある）。`Competition for entrance to that university is very high.`（その大学への入学競争は非常に激しい）。②「出口」は`exit`で、`entrance`の対義語です。③「中心」は`center`、④「全体」は`entirety`や`whole`です。

◆補足：`entrance`は動詞`enter`（～に入る）の名詞形です。`an entrance exam`（入学試験）、`an entrance fee`（入場料）、`No entrance`（立ち入り禁止）。

8.

解答 ①**【解説】**

正解は①「～を表す、～を支持する」です。`stand for`は、主に二つの意味があります。一つは、記号や文字、略語などが「～を表す、～の略である」という意味です。もう一つは、考えや理念などを「～を支持する、擁護する」という意味です。`"USA" stands for the United States of America.`（「USA」はアメリカ合衆国を表します）。`This party stands for freedom of speech.`（この政党は言論の自由を支持している）。②「～の味方である」は`stand by`、③「目立つ」は`stand out`、④「～に立ち向かう」は`stand up to`です。

◆補足：`stand for`は、`represent`（～を表す）や`support`（～を支持する）と似た意味で使えます。

9.

解答 ③**【解説】**

正解は③の`rude`で、「失礼な、無作法な、無礼な」という意味の形容詞です。社会的な礼儀や、他人の感情への配慮に欠ける言動を表します。`He made a rude comment about her clothes.`（彼は彼女の服装について失礼なコメントをした）。他の選択肢は、①`crude`が「天然のままの、粗野な」、②`rule`が「規則」、④`nude`が「裸の」という意味です。

◆補足：対義語は`polite`（礼儀正しい）です。名詞形は`rudeness`（無礼、失礼）です。`impolite`も「失礼な」という意味ですが、`rude`の方がより直接的で、強い非難のニュアンスを含むことがあります。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④「突然に」です。`all of a sudden`は、「不意に、いきなり」という意味の熟語です。予期しないことが急に起こったことを表します。`All of a sudden, the dog started barking.`（突然、その犬が吠え始めた）。①「いつも」は`all the time`、②「全体として、概して」は`all in all`、③「何よりもまず」は`above all`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`all of a sudden`は`suddenly`とほぼ同じ意味で、より口語的で、驚きの気持ちを強調するニュアンスがあります。文頭や文末に置かれることが多いです。

11.

解答 ④

【解説】

正解は④の`so that A can do`で、「A が～できるように」という目的を表す接続詞句です。何かをする目的を説明する際に使われます。`I saved money so that I could study abroad.`（私は留学できるように、お金を貯めた）。他の選択肢は、①`so ~ that A ...`が「とても～なのでA は…する」という結果を表す構文、②`~ enough to do`が「…するほど十分に～だ」、③`in order to do`も目的を表しますが、後ろに主語を伴う文は続きません。

◆補足：`so that`の後ろには「主語 + 動詞」の文が続くのが特徴です。`can`の代わりに`may`や`will`が使われることもあります。また、口語では`that`が省略されることもあります。

12.

解答 ①

【解説】

正解は①「文学」です。`literature`は、小説、詩、劇など、芸術的価値を持つ書き物、つまり「文学、文芸」を意味する名詞です。また、ある特定の主題に関する「文献、資料」全体を指すこともあります。

す。`She majored in English literature at university.`（彼女は大学で英文学を専攻した）。②「図書館」は`library`、③「手紙、文字」は`letter`、④「文字通り」は副詞の`literally`です。

◆補足：コロケーションとしては、`classical literature`（古典文学）や`children's literature`（児童文学）などがあります。`a Nobel Prize in Literature`（ノーベル文学賞）。形容詞形は`literary`（文学の）です。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④「才能のある」です。`talented`は形容詞で、生まれつき、あるいは努力によって、特定の分野で優れた能力を持っていることを示します。`She is a talented musician who can play several instruments.`（彼女はいくつかの楽器を演奏できる、才能ある音楽家だ）。①「話好きの」は`talkative`、②「忍耐強い」は`patient`、③「信頼できる」は`reliable`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`talented`は名詞`talent`（才能）の形容詞形です。`a person of many talents`（多才な人）。`gifted`も「才能のある」という意味で使われますが、`gifted`の方がより天賦の才というニュアンスが強いです。

14.

解答 ③

【解説】

正解は③「訪問者、観光客」です。`visitor`は、ある場所や人のもとを「訪れる人、訪問者、来客」または「観光客、見学者」を意味する名詞です。`The museum attracts more than a million visitors a year.`（その美術館は年に100万人以上の来場者を集める）。①「生存者」は`survivor`、②「勝利者」は`victor`、④「監督者」は`supervisor`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`visitor`は動詞`visit`（～を訪問する）に、人を表す接尾辞`-or`が付いてできた単語です。`a visitor from another country`（外国からの訪問者）。`a regular visitor`（常連の訪問客）。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④の`to begin with`で、「まず第一に、手始めに、そもそも」という意味です。話や議論を始めるときに、最初のポイントを導入するのに使われます。`There are several problems. To begin with, we don't have enough money.`（いくつか問題がある。まず第一に、私たちには十分なお金がない）。他の選択肢は、①`in the beginning`が「最初は（後で変わったが）」、②`at the beginning`が「～の初めに」、③`for a beginner`が「初心者にとっては」という意味です。

◆補足：`to begin with`は`first of all`とほぼ同じ意味で、置き換えが可能です。文頭に置いて、コンマで区切るのが一般的です。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①「演説をする」です。`make a speech`は、「スピーチをする」という意味の熟語です。大勢の人の前で、あるテーマについて公式に話すことを表します。`The mayor will make a speech at the opening ceremony.`（市長が開会式でスピーチを行う予定だ）。②「話し合う」は`have a talk`、③「冗談を言う」は`make a joke`、④「約束をする」は`make a promise`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`make a speech`とほぼ同じ意味で`give a speech`や`deliver a speech`も使われます。`deliver`を使った表現は、よりフォーマルな響きがあります。

17.

解答 ③

【解説】

正解は③の`sort`で、名詞として「種類」、動詞として「～を分類する」という二つの意味があります。名詞の例: `What sort of work do you do?`（どのような種類のお仕事をされていますか?）。動詞の例: `Please sort these documents by date.`（これらの書類を日付順に分類してください）。他の選択肢は、①`short`が「短い」、②`sore`が「痛い」、④`port`が「港」という意味です。

◆補足：`sort`は`kind`とほぼ同じ意味で「種類」を表します。`a sort of ~`や`sort of`の形で、口語では「一種の～、まあ何というか」と、言葉を和らげたり、あいまいにするために使われることもあります。

18.

解答 ①

【解説】

正解は①「ほとんど～ない」です。`hardly`は副詞で、程度や量が非常に少ないことを表す否定語です。`can`と共に使われると「ほとんど～できない」となります。`It was so dark that I could hardly see anything.`（とても暗くて、ほとんど何も見えなかった）。②「熱心に」は`hard`、③「ほとんど」という肯定的な意味では`almost`や`nearly`、④頻度が「めったに～ない」は`rarely`や`seldom`です。

◆補足：`hardly`は否定語なので、`not`と一緒に使うことはできません。形容詞の`hard`（熱心な、硬い）とは意味が全く異なるので注意が必要です。`hardly ever`で「めったに～ない」という意味になり、`rarely`とほぼ同じように使えます。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③の`build`で、「～を建てる、築く」という意味の動詞です。建物や橋などを建設することや、比喩的に関係やキャリアなどを「築き上げる」ことを表します。`It takes a long time to build trust.`（信頼関係を築くには長い時間がかかる）。他の選択肢は、①`bill`が「請求書」、②`bold`が「大胆な」、④`boil`が「～をゆでる」という意味です。

◆補足：`build`の活用は`build - built - built`と不規則に変化します。名詞形は`building`（建物）です。

20.

解答 ④

【解説】

正解は④の`amazing`で、「驚くべき、すばらしい」という意味の形容詞です。信じられないほど素晴らしい、といった強い感嘆の気持ちを表します。`She has an amazing talent for music.`（彼女には音楽に対する驚くべき才能がある）。他の選択肢は、①`amusing`が「（人を笑わせるように）おもしろい」、②`awful`が「ひどい、恐ろしい」、③`ancient`が「古代の」という意味です。

◆補足：`amazing`は動詞`amaze`（～をひどく驚かせる）の現在分詞が形容詞として使われているものです。人が「ひどく驚く」という感情を表す場合は、過去分詞の`amazed`を使います。`We were amazed by the magician's tricks.`（私たちはその手品師の芸にひどく驚いた）。

21.

解答 ④

【解説】

正解は④の`both A and B`で、「A と B の両方」という意味です。二つのものを両方とも指し示します。`both A and B`が主語になる場合、動詞は常に複数形になります。`Both English and math are important subjects.`（英語と数学は両方とも重要な科目だ）。他の選択肢は、①`either A or B`が「A か B のどちらか」、②`neither A nor B`が「A でも B でもない」、③`not only A but also B`が「A だけでなく B も」という意味です。

◆補足：`I like both.`（両方好きです）のように、`both`は代名詞としても使われます。また、`We both like soccer.`のように、代名詞の後に置いて「私たちは二人とも」と強調することもできます。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③「地球、地面」です。`earth`は、私たちが住んでいる惑星である「地球」や、土や陸地である「地面、大地」を意味する名詞です。天体としての地球を指す場合は`the Earth`と`the`を付けて大文字で始めるのが一般的です。`The astronauts looked at the Earth from space.`（宇宙飛行士たちは宇宙から地球を見た）。①「耳」は`ear`、②「稼ぐ」は`earn`、④「早く」は`early`です。

◆補足：`on earth`は、`What on earth ...?`のように疑問詞を強調して「一体全体」という意味で使われることがあります。`earthquake`（地震）という単語も`earth`（大地）と`quake`（揺れ）が組み合わさってできています。

23.

解答 ③

【解説】

正解は③の`amateur`で、「アマチュア、素人」を意味します。ある活動を、職業としてではなく、楽しむのに行う人を指します。`This photo contest is open to both professionals and amateurs.`（この写真コンテストは、プロとアマチュアの両方に応募資格がある）。他の選択肢は、①`ambassador`が「大使」、②`ancestor`が「祖先」、④`author`が「著者」という意味です。

◆補足：対義語は`professional`（プロ、専門家）です。`amateur`は形容詞として「素人の、アマチュアの」という意味でも使われます。`an amateur athlete`（アマチュア選手）。

24.

解答 ①

【解説】

正解は①「～するために」です。`in order to do`は、行動の目的を表す表現です。`so as to do`とほぼ同じ意味で、単に`to do`（不定詞の副詞的用法）と言うよりも、目的であることが明確になり、よりフォーマルな響きを持ちます。`She moved to a big city in order to find a better job.`（彼女はより良い仕事を見つけるために、大都市へ引っ越した）。②「～するように命令する」は`order A to do`、③「～の代わりに」は`in place of`、④「～に加えて」は`in addition to`です。

◆補足：否定形は`in order not to do`（～しないように）となります。`I spoke quietly in order not to wake the baby.`（私は赤ちゃんを起こさないように、静かに話した）。目的を表す接続詞`so that A can do`（A が～できるように）との書き換えも重要です。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③「信頼、信仰」です。名詞の`faith`は、証拠がなくても何かを固く信じること、つまり「信頼、信用」や、神などに対する「信仰、信仰心」を意味します。`I have great faith in her ability to lead the team.`（私は彼女がチームを率いる能力を大いに信頼している）。①「運命」は`fate`、②「失敗」は`failure`、④「公平さ」は`fairness`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：形容詞形は`faithful`（忠実な、信頼できる）です。`He is a faithful friend.`（彼は忠実な友人だ）。コロケーションとしては`keep faith with ~`（～との約束を守る）や`lose faith in ~`（～への信頼を失う）などがあります。

26.

解答 ②

【解説】

正解は②「電気」です。`electricity`は、エネルギーの一形態である「電気、電力」を意味する名詞です。`This factory consumes a large amount of electricity.`（この工場は大量の電力を消費する）。①「弾力性」は`elasticity`、③「選挙」は`election`、④「優雅さ」は`elegance`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`electricity`は数えられない名詞（不可算名詞）です。`generate electricity`（発電する）、`save electricity`（節電する）。形容詞形が前の問題の`electric`（電気の）です。

27.

解答 ②

【解説】

正解は②の`ground`で、「地面、土地」や「運動場」、そして意見などの「根拠、理由」といった複数の意味を持つ名詞です。`The kids were playing on the wet ground.`（子供たちはぬれた地面で遊んでいた）。`She had good grounds for her complaint.`（彼女の苦情には十分な根拠があった）。他の選択肢は、①`around`が「周りに」、③`round`が「丸い」、④`sound`が「音」という意味で、発音が似ていますが意味は異なります。

◆補足：`underground`は「地下の」という形容詞や「地下鉄」という名詞になります。`on the ground that ...`で「…という理由で」という接続詞的な働きをします。

28.

解答 ①

【解説】

正解は①「～と関係がある」です。`be related to ~`は、「～と関連がある」という意味の熟語で、二つ以上の物事の間につながりや関係性があることを示します。また、血縁関係について「～と親戚である」という意味でも使われます。`Lack of sleep is often related to health problems.`（睡眠不足はしば

しば健康問題と関連している)。「Are you related to him?»(あなたは彼と親戚ですか?)。②「～に頼っている」は`be dependent on ~`、③「～と似ている」は`be similar to ~`、④「～と異なっている」は`be different from ~`です。

◆補足：動詞`relate` (～を関連付ける) の受け身の形です。名詞形は`relation` (関係) や`relative` (親戚) です。

29.

解答 ②

【解説】

正解は②「(夢などが) 実現する」です。`come true`は、夢、願い、予測などが「本当になる、現実のものとなる」という意味の熟語です。`I hope all your dreams come true.` (あなたの夢がすべて実現することを願っています)。①「真実だとわかる」は`turn out to be true`、③「元気づく」は`cheer up`、④「偶然出会う」は`come across`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`come`の活用は`come - came - come`なので、過去形は`came true`となります。`My dream finally came true.` (私の夢がついに実現した)。`A dream come true`は「実現した夢」という意味で、喜びを表す決まり文句です。

30.

解答 ④

【解説】

正解は④の`ruin`で、名詞として「廃墟、遺跡」(通常複数形の`ruins`)や「破滅」、動詞として「～を台無しにする、破壊する」という意味を持ちます。`They explored the ancient ruins.` (彼らは古代遺跡を探検した)。`The scandal ruined his career.` (そのスキャンダルが彼の経歴を台無しにした)。他の選択肢は、①`rain`が「雨」、②`reign`が「統治」、③`rule`が「規則」という意味です。

◆補足：`in ruins`で「荒廃して、廃墟となって」という状態を表します。`The castle is now in ruins.` (その城は今や廃墟となっている)。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①「恐ろしい、ぞっとするような」です。`frightening`は形容詞で、人に恐怖感を与える物事の性質を表します。`It was a frightening experience to be alone in the old house.` (その古い家に一人でいるのは恐ろしい経験だった)。②「驚くべき」は`surprising`、③「退屈な」は`boring`、④「興味深い」は`interesting`です。これらはすべて、感情を引き起こす原因を表す`-ing`形の形容詞です。

◆補足：`frightening`は動詞`frighten`（～を怖がらせる）の現在分詞が形容詞として使われているものです。人が「怖がる」という感情を表す場合は、過去分詞の`frightened`を使います。`The loud thunder frightened the little dog.`（大きな雷の音がその子犬をおびえさせた）。`I'm frightened of spiders.`（私はクモが怖い）。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①の`technology`で、「(科学) 技術」を意味します。科学的知識を、工業や日常生活などの実用的な目的に応用すること、またその知識や方法の体系を指します。`Advances in technology have changed our lives dramatically.`（科学技術の進歩は私たちの生活を劇的に変えた）。他の選択肢は、②`technique`が「(具体的な) 技術、技巧」、③`technical`が形容詞で「技術的な」、④`terminology`が「専門用語」という意味です。

◆補足：`information technology (IT)`（情報技術）という言葉でよく知られていますね。形容詞形は`technological`（技術的な）です。`a technological innovation`（技術革新）。

33.

解答 ②

【解説】

正解は②の`fairly`で、「かなり、まあまあ、そこそこ」という意味の副詞です。形容詞や副詞を修飾し、その程度が「思ったよりは良い、悪くはない」という肯定的なニュアンスで使われることが多いです。`The weather was fairly warm for this time of year.`（一年のこの時期にしては、かなり暖かかった）。他の選択肢は、①`justly`が「公正に、正当に」、③`hardly`が「ほとんど～ない」、④`merely`が「単に、ただ」という意味です。

◆補足：`fairly`と`rather`はどちらも「かなり」と訳せますが、`fairly`は肯定的な事柄（`fairly good`）に、`rather`は否定的な事柄（`rather bad`）に使われる傾向があります。また、`fairly`には「公平に、公正に」という意味もあります。

34.

解答 ③

【解説】

正解は③の`evidence`で、何かが真実であることを示す「証拠、証言、形跡」を意味する名詞です。裁判や科学的な議論などで使われることが多い、やや硬い言葉です。`The police found no evidence to link him to the crime.`（警察は彼をその犯罪と結びつける証拠を何も見つけられなかった）。他の選択肢は、①`event`が「出来事」、②`existence`が「存在」、④`experience`が「経験」という意味です。

◆補足：`evidence`は数えられない名詞（不可算名詞）として扱われるのが基本です。「一つの証拠」は`a piece of evidence`のように数えます。形容詞形は`evident`（明白な）で、`It is evident that ...`（…ということは明白だ）の形で使われます。

35.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を切望している」です。`be eager for`～`は、「～をしきりに求めている、熱望している」という意味の熟語で、何かを非常に強く望んでいる、熱意のある状態を表します。`The students are eager for the holidays.`（生徒たちは休暇を切望している）。②「～に責任がある」は`be responsible for`～`、③「～に適している」は`be suitable for`～`、④「～の準備ができている」は`be ready for`～`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`be eager to do`の形で「しきりに～したがっている」と、後ろに動詞の原形を続けることもできます。`eager`は「熱心な」という意味の形容詞で、`be anxious for`～`（～を心配している、切望している）と似ていますが、`eager`は純粋な期待感や熱意を表します。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「規則的な、ふつうの」です。`regular`は形容詞で、決まったパターンや間隔で繰り返されることや、特別ではなく標準的であることを表します。`Regular dental checkups are important.`（定期的な歯科検診は重要だ）。①「不規則な」は`irregular`で、否定を表す`ir-`が付いた対義語です。③「地域的な」は`regional`、④「宗教的な」は`religious`です。

◆補足：副詞形は`regularly`（規則的に、定期的に）です。`a regular customer`（常連客）。`regular size`（レギュラーサイズ）。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④「～に決める」です。`decide on`～`は、「～を選ぶ、～に決定する」という意味の句動詞です。いくつかの選択肢の中から、考えた末に一つを選び出すことを表します。`After much discussion, we decided on the final design.`（多くの議論の末、私たちは最終的なデザインに決めた）。①と②はどちらも`depend on`～`で表せます。③「～に反対する」は`object to`～`などが適切な表現です。

◆補足：`decide to do`（～することを決心する）と`decide on` 名詞（～（名詞）に決める）の使い分けがポイントです。`I decided to study abroad.`（留学することを決めた）。`We need to decide on a date for the party.`（私たちはパーティーの日程を決めなければならない）。

38.

解答 ②

【解説】

正解は②の`film`で、主な意味が二つあります。一つは「映画」で、特にイギリス英語で`movie`よりも一般的に使われます。もう一つは、写真撮影や映画撮影に使う「フィルム」です。`It is one of the most famous films of the 21st century.`（それは21世紀で最も有名な映画の一つだ）。他の選択肢は、①`firm`が「会社」や形容詞で「堅い」、③`form`が「形、形式」、④`field`が「野原、分野」という意味です。

◆補足：動詞の`film`は「～を撮影する」という意味です。`They are filming a new movie in our town.`（彼らは私たちの町で新しい映画を撮影している）。`the film industry`（映画産業）、`film director`（映画監督）。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「歴史の、歴史に関する」です。`historical`は形容詞で、過去の出来事に関連していることを示します。`This movie is not a historical drama; it's a fantasy.`（この映画は歴史劇ではなく、ファンタジーだ）。①「歴史的に重要な」は`historic`、②「歴史家」は`historian`、③「歴史」は`history`です。これらはすべて`history`から派生した言葉ですが、意味や品詞が異なるので注意が必要です。

◆補足：`historical`と`historic`の使い分けが重要です。`historical`は単に「歴史上の」事実（`historical evidence` 歴史的証拠）を指すのに対し、`historic`はその中でも特に「歴史的に重要で画期的な」出来事や場所（`a historic speech` 歴史的な演説）を指します。

40.

解答 ③

【解説】

正解は③の`office`で、主に二つの意味があります。一つは、事務作業が行われる「事務所、会社、仕事場」です。もう一つは、政府などの「官職、公職、役職」です。`Our office is on the fifth floor.`

（私たちの事務所は5階にあります）。`He took office as president.`（彼は大統領の職に就いた）。他の選択肢は、①`offer`が「申し出」、②`officer`が「役員、警官」、④`official`が形容詞で「公式の」または名詞で「役人」という意味です。

◆補足：コロケーションとしては、`post office`（郵便局）、`head office`（本社）、`an office worker`（会社員）などがあります。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④の`imagination`で、「想像力、想像」を意味します。心の中にイメージを思い浮かべる能力や、そのイメージそのものを指します。`A good writer needs a vivid imagination.`（良い作家には、生き生きとした想像力が必要だ）。他の選択肢は、①`image`が「画像、イメージ」、②`imitation`が「模倣、まね」、③`immigration`が「(他国からの) 移住」という意味です。

◆補足：`imagination`の動詞形は`imagine`（～を想像する）、形容詞形は`imaginative`（想像力豊かな）です。`It wasn't real; it was just your imagination.`（それは現実ではなかった。君のただの想像だよ）。

42.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を救う、～を節約する、～を保存する」です。`save`は多くの意味を持つ動詞です。①「(命など) を救う」、②「(お金・時間など) を節約する」、③「(データなど) を保存する」の三つが中心です。`The lifeguard saved the drowning child.`（そのライフガードは溺れている子供を救った）。`I save 10% of my salary every month.`（私は毎月、給料の10%を貯金している）。①は`send`、②は`serve`、③は`solve`です。

◆補足：名詞形は`savior`（救世主）や`savings`（貯金）など、意味によって異なります。形容詞の`safe`（安全な）、名詞の`safety`（安全）とも関連しています。`save a file`（ファイルを保存する）。

43.

解答 ③

【解説】

正解は③「状況、事態、立場」です。`situation`は、ある特定の時と場所における、物事の「状況、事態、情勢」や、人の「立場、境遇」を意味する名詞です。`We need to assess the current situation accurately.`（私たちは現状を正確に評価する必要があります）。①「解決策」は`solution`、②「満足」は`satisfaction`、④「提案」は`suggestion`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`the economic situation`（経済状況）、`a difficult situation`（困難な状況）。類義語の`circumstance`は、より周囲の事情や環境というニュアンスが強いですが、複数形の`circumstances`で`situation`と似た意味で使われます。

44.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を言い表す、説明する」です。動詞の`describe`は、人や物、出来事がどのようなものであるかを、言葉で詳しく「描写する、説明する」ことを表します。`Can you describe the bag you lost?`（あなたがなくしたバッグがどんなものか説明できますか?）。②「～を設計する」は`design`、③「～を破壊する」は`destroy`、④「～を決定する」は`decide`です。

◆補足：名詞形は`description`（描写、説明）です。`a brief description`（簡単な説明）。`beyond description`で「言葉では言い表せないほど」となります。`The beauty of the sunset was beyond description.`（その夕日の美しさは筆舌に尽くしがたかった）。

45.

解答 ①

【解説】

正解は①「一つ、一片」です。`piece`は、全体から切り離された「一個、一枚、一片」を意味する名詞です。特に、`cake`や`paper`、`advice`といった数えられない名詞を数える際の単位として非常に重要です。`a piece of cheese`（チーズ一個）。②「平和」は`peace`で`piece`と同音異義語です。③「ペース」は`pace`、④「部分」は`part`です。`part`が全体を構成する「部品」のようなニュアンスなのに対し、`piece`は切り離された「かけら」というニュアンスが強いです。

◆補足：数えられない名詞を数える例：`a piece of information`（一つの情報）、`a piece of furniture`（一つの家具）、`a piece of news`（一つのニュース）。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④の`invention`で、「発明、発明品」を意味します。それまで存在しなかった新しい物や方法を創り出すこと、またその創り出されたものを指します。`The invention of the telephone revolutionized communication.`（電話の発明はコミュニケーションに革命をもたらした）。他の選択肢は、①`invitation`が「招待」、②`investment`が「投資」、③`convention`が「大会」や「慣習」という意味です。

◆補足：`invention`は動詞`invent`（～を発明する）の名詞形です。発明家は`inventor`です。`Necessity is the mother of invention.`（必要は発明の母）は有名なことわざです。

47.

解答 ①

【解説】

正解は①「ますます、だんだん」です。`increasingly`は副詞で、物事の程度や数量が、時間とともに増していく様子を表します。形容詞や副詞を修飾して、その変化が継続していることを示します。`It is becoming increasingly important to protect the environment.`（環境を保護することがますます重要になってきている）。②「信じられないほど」は`incredibly`、③「必然的に」は`inevitably`、④「徐々に」は`gradually`がそれぞれ適切な単語です。`gradually`は単に段階的な変化を表しますが、`increasingly`は増加の方向性を持つ変化を強調します。

◆補足：`increasingly`は、動詞`increase`（増加する）の現在分詞`increasing`に`-ly`を付けて作られた副詞です。`more and more`という表現と意味が似ていますが、`increasingly`の方がよりフォーマルな響きがあります。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を形成する、形作る」です。動詞の`form`は、いくつかの要素が集まって、一つの形や集団を作り上げることを表します。`A group of volunteers formed a circle to discuss their plans.`（ボランティアのグループが、計画を話し合うために輪になった）。①「～から」は`from`、②「～のために」は`for`、③「～を耕作する」は`farm`です。これらは発音が似ているので注意しましょう。

◆補足：`form`は名詞として「形、形式」や「(記入) 用紙」という意味でも使われます。`Please fill out this application form.`（この申込用紙にご記入ください）。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「空間、宇宙」です。名詞の`space`は、何もない空いた場所としての「空間、余地、スペース」や、地球の外に広がる広大な「宇宙」を意味します。`Is there enough space for my luggage?`（私の荷物を置くのに十分なスペースはありますか?）。`He dreamed of becoming an astronaut and traveling through space.`（彼は宇宙飛行士になって宇宙を旅することを夢見ていた）。②「速度」は`speed`、③「特別な」は形容詞の`special`、④「場所」は`place`です。`place`が特定の地点を指すのに対し、`space`はより広がりや空いている場所というニュアンスが強いです。

◆補足：形容詞形は`spacious`（広々とした）です。`a parking space`（駐車スペース）、`personal space`（パーソナルスペース）、`outer space`（宇宙空間）など、多くの複合語で使われます。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④の`exhibition`で、「展覧会、展示会」を意味する名詞です。美術品、製品、歴史的資料などを、多くの人々に見せるために公開する催しを指します。`The museum is holding a special exhibition of ancient art.`（その美術館は古代美術の特別展を開催している）。他の選択肢は、①`exception`が「例外」、②`expedition`が「探検（隊）」、③`explanation`が「説明」という意味です。

◆補足：動詞形は`exhibit`（～を展示する）で、名詞として「展示品」という意味でも使われます。`hold an exhibition`（展覧会を開く）。
